

大学図書館情報リテラシーセミナー 明治～大正～戦前の論文を探す

雑誌記事索引集成データベース

平成22年6月11日

ご質問は: epro-j@maruzen.co.jp


MARUZEN

1

本日のお話

1. データベースの概要
2. 検索の実際
3. 検索結果の利用方法
4. 端末実習


MARUZEN

2

レポート・考察などの情報源

	研究書・単行本	雑誌記事	新聞記事
分量	数十～数百ページ	一～数十ページ	数段
特性	背景など十分な取材	一定の取材 即時性も維持	即時性、生々しさ
検索ツール (データベースNAVI)	NDL OPAC(国立国会図書館)、Webcat(国立情報学研究所)、オンライン書店など	雑誌記事索引集成DB、CiNii、MagazinePlus、大宅社一文庫など	日経テレコン21、間蔵、毎日Newsバック、ヨミダスなど

- ・(インタビュー、ディスカッション)
- ・(インターネット)

信頼性のない
情報は使わない!


MARUZEN

3

雑誌記事データベースとは?

- ・書籍・単行本についてはOPACや所蔵目録、あるいはオンライン書店などで「あるテーマについてどんな本があるか」、「ある人が書いたどんな本があるか」を調べることができます。
- ・ですが、雑誌については通常は現物を手にとったり、目次情報を見ない限りどんな記事(論文)が収録されているか知ることがなかなかできません。
- ・戦後の雑誌で探す場合には国立国会図書館が作成して公開している雑誌記事のデータベースが利用できます。
- ・皓星社の「雑誌記事索引集成データベース」はそれに加えて明治まで遡り、また地方で刊行される地方の情報を収録する雑誌など、国立国会図書館のデータを補完して雑誌記事索引情報の大海を提供します。


MARUZEN

4

このデータベースの特徴

1. 明治から現在まで

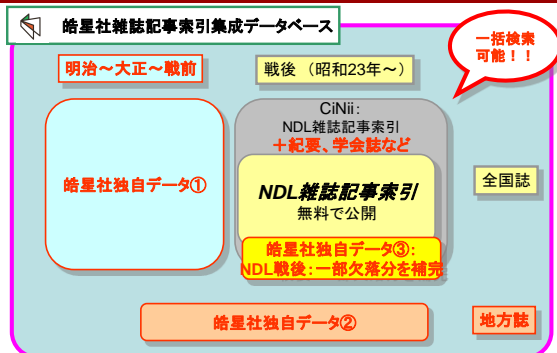
- ・国立国会図書館(NDL)の「雑誌記事索引」は、昭和23年以降現在までの情報のみの収録です
- ・このデータベースでは、明治・大正・昭和前期の索引情報を提供します
- ・結果として「明治～現在」までの雑誌記事がシームレスで検索可能になりました

2. 全国誌から地方誌まで

- ・国立国会図書館「雑誌記事索引」は全国誌のみを収録
- ・『日本史文獻年鑑』(74'83)、『地方史雑誌文獻目録』(83'97)、『地方史文獻年鑑』(97～)をベースに地方で出版された雑誌の文獻情報を一括して検索可能です。


MARUZEN

5



MARUZEN

6

データベースの特徴(続き)

3. 記事検索から所蔵情報・コピーまで

・文献の検索結果と併せて

① Webcat (国立情報学研究所提供)の当該書誌を表示
どこの図書館が所蔵しているか(学習院大学様含む)を確認できます

② NDL(国立国会図書館)所蔵情報を表示
その場で複写の申込みができます

- ・コピーは有料です。
- ・国立国会図書館への登録が必要です。
- ・複写申込は国立国会所蔵資料のみです。



4. 新旧字、あて字、別名などに対応する独自の用語集

① 簡易検索「徂徠」

- ・検索結果 8. 「徂徠先生の答問書」
⇒ 所蔵: Webcat(図書館)、NDL(複写機能)

② 簡易検索・詳細検索「大鳥圭介」

③ 詳細検索 雑誌名「白樺」、論題「ゴッホ」

- ・「白樺」では「ゴッホ」と表記されますが「ゴッホ」でヒット : 独自辞書機能

④ 詳細検索 雑誌名「大法輪」

- ・NDLデータのデータを時星社が独自入力で補完

⑤ CiNii連携 誌名「学習院大学経済論集」

- ・検索結果から本文表示が可能です